



6月 すこやか

令和3年6月1日
文責：青砥 真由美

ぽかぽかと暖かい日もありますが、雨の日は肌寒さを感じます。気温の変化があるため、体調管理に気を付けながら過ごして欲しいと思います。

新型コロナウイルス感染症の状況が深刻化し、「緊急事態宣言」が出されたため、不要不急の外出を自粛し、ひき続きマスクの着用や、手洗いの徹底を心掛け、一日も早く普段の生活を取り戻したいですね。



～小、中学生の保護者のお茶会のご案内～ 6月17日（木） 10：00～12：00

小、中学生の保護者の方を対象にお茶会を実施します。お子さんの日頃の様子や困っていることなどを気軽にお話しする機会にさせていただき、情報交換ができればと思っていますので、都合のつく時間に是非ご参加下さい。新型コロナウイルス感染症の状況により、延期になる場合もありますので、参加して頂ける方は、連絡をお願い致します。

（未就学児の保護者のお茶会は、7月8日に予定しています）

発達検査について

発達支援センターで「新版K式発達検査」と「WISCIV知能検査」を実施しています。今年度は芽室町発達支援センターに検査を委託しているため、芽室町に検査を受けに行ってもらう場合もあります。検査は、個々の発達、特徴を把握し、療育や集団生活に役立てていきます。

鹿追小学校在籍児を持つ保護者の方へ

療育は保護者の送迎を原則としていますが、鹿追小学校在籍児童は距離が近いことから、徒歩での来所が多くなっています。

下校時の怪我や事故に関する保険の関係で鹿追小学校へ療育予定をお知らせしていますので、ご理解をよろしくお願い致します。



～お子さんの「弱視」は早期発見が大切です～

弱視とは眼鏡をかけても視力が1.0に満たない状態を言います。弱視のお子さんは、50人に1人くらいの割合で見られます。

視力の発達は6～8歳で完成するため、それ以降に治療を行っても、思うような効果が得られないことが多くなります。3歳～3歳半頃に異常を発見できることが望ましいのですが、3歳児検診は自宅で視力検査を行っているため、正しく計ることが難しく発見に繋がらない場合があります。少しの段差でつまずく、TVや絵本に目を近づける、光をまぶしがる、色が分からないなどの気になる様子がありましたら、当センターにご相談下さい。